

2017年度いちかわTMOアドバンス 修了研究

船を活用した行徳のまちづくり

2017/07/15

田中祥一

(1) 自己紹介

① 仕事

- 企業の研究開発、特許戦略
- 弁理士（特許の国家資格）

② 市川市とのかかわり

- 2007年 行徳に住み始める（社宅）
- 2015年 長男小学校入学
自宅購入（市川市宝）

③ 仕事以外の活動

- 歴史散歩の会（ブラタナリ）開催。
- 川が好き（運河、水路、堀も）

歴史散歩の会（ブラタナリ）について

「水運ネットワーク」でFacebook情報発信。

参加費1000円／1人。



1. 日本橋



4. 神田上水

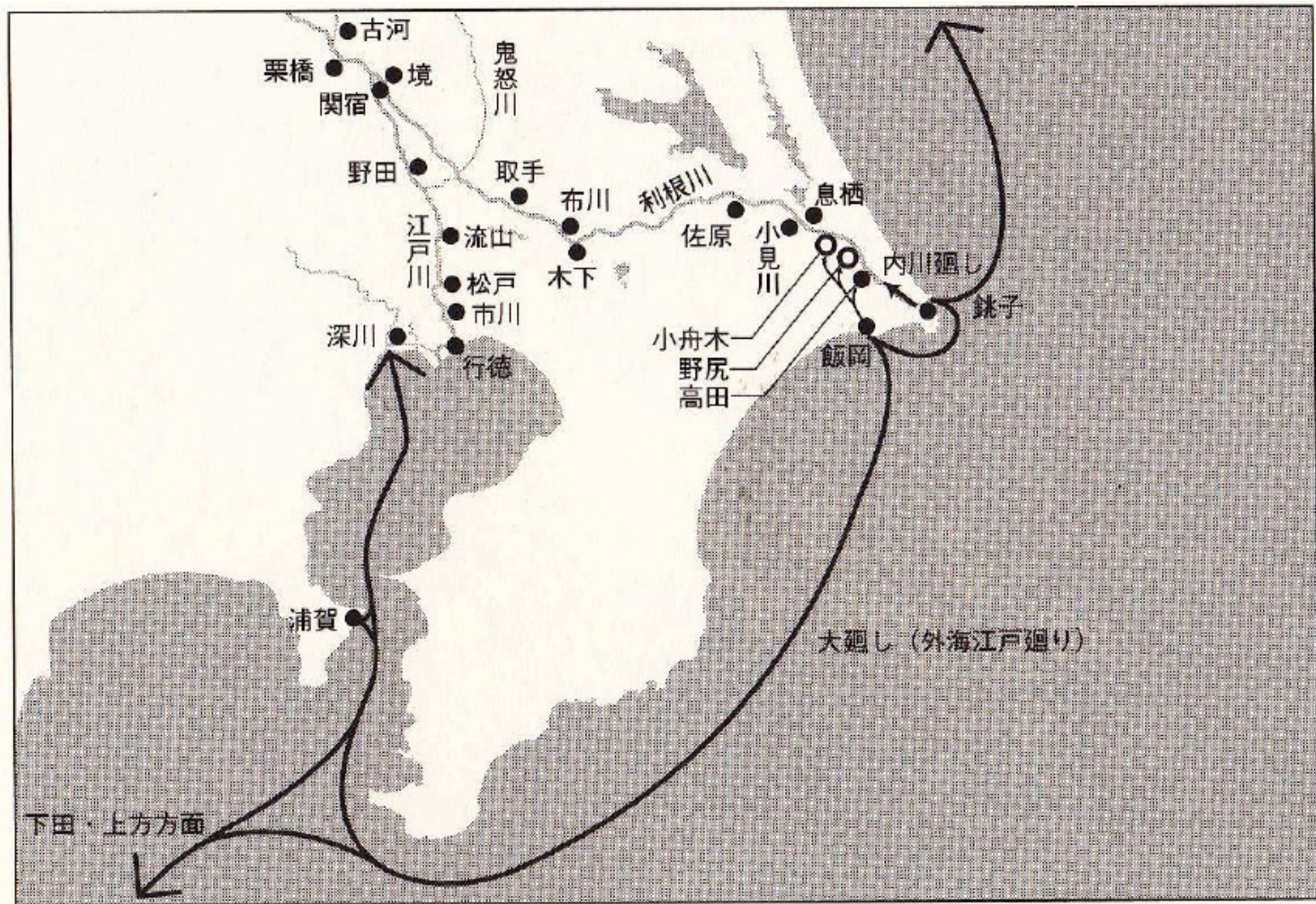


6. 小名木川



9. 行徳

(2) 市川市の川 ～江戸川は重要物流路であった～



行徳は重要物流路の中の要所であった。

(2) 市川市の川 ~行徳から川伝いに日本橋に行けた~



江戸時代、行徳からは塩を運び、日本橋からは人を運び
行徳は水運の街として、賑わった。

(2) 市川市の川 ~行徳から川伝いに日本橋に行けた~



江戸時代、行徳からは塩を運び、日本橋からは人を運び
行徳は水運の街として、賑わった。

(3) 行徳での舟運イベントの実行

名 称 かわまち行徳 塩まつり
 ～国交省調査船 と 塩づくり 体験～
開催日 平成29年5月27日（土）10時～
場 所 常夜灯公園
主 催 行徳郷土文化懇話会等



(3) 行徳での舟運イベントの実行

<経緯>

- 地元による旧江戸川の賑わい／舟運の復活の声
- 国交省「かわまちづくり出前講座」を実施（昨年10月）
- 千葉県より防災船着場（常夜灯公園）の使用許可（3月）
- 実行委員会（4名）によるイベントの企画・実行

<結果>

- 乗船整理券は配布開始30分で完了（70名が乗船）。
- 地元（本行徳地域）の方が、ボランティアをかって出てください、イベント後、最も喜んでくださった。
- 常夜灯公園売店の売上は通常の3倍であった。

(4) 船を活用したまちづくり (将来像)

- 定期運行 (年1回→年4回) へ。
地元シニアの方のパワーを借り、コストを抑え継続運営。
- 「船」という調味料で、浅子御輿や笹屋うどん跡等の文化資源を繋げ、わかりやすい観光スポットにする。



文化の街かど回遊マップより (市川市発行)

(4) 船を活用したまちづくり (将来像)

- 定期運行 (年1回→年4回) へ。
地元シニアの方のパワーを借り、コストを抑え継続運営。
- 「船」という調味料で、浅子御輿や笹屋うどん跡等の文化資源を繋げ、わかりやすい観光スポットにする。



文化の街かど回遊マップより (市川市発行)

(5) 川を利用したまちづくり (将来像)



市川には行徳以外にも数多くの拠点が存在する。

これら拠点も活用できるように考えて行きます。

一例：

- 市川市の南北（行徳－市川）を船で結ぶ。
- 国府台を見上げる場所でボート遊びができるように整備する。

以上

川の魅力との出会い ～中国旅行 蘇州～



<http://lastsmile.cocolog-nifty.com/lastsmile/2009/08/post-2cd7.html>